

次に上水道の整備についてであります。安全でおいしい水道水を安定して供給し続けるため、建設から三十年を経過し著しく老朽化が進んでいる満願寺浄水場につきまして、新年度から二期・八か年計画で、順次設備の更新をおこなってまいります。

次に、交通網の整備に関する施策であります。

環境にやさしいまちづくりを進めるためには、自家用車から公共交通機関への利用転換や自転車利用の促進を図るなど、交通量をコントロールする交通需要マネジメント施策や交通結節点の機能強化など、多面的な角度から検証し、徒歩・自転車・バス・鉄道・自動車など、それぞれをつまぐ活用した総合交通体系の確立を目指すことが必要であると考えております。



生まれ変わる「新津の玄関口」

は、市街地の朝夕の交通渋滞を解消するため、これをう回する環状道路の整備促進に努めてきたところであります。国道四六号新津東バイパスにつきましては、昨年八月、国道四三号と接続、暫定二車線で供用開始がなされ、現在は四車線化に向け継続して工事を進めているところであります。阿賀野川左岸地区広域農道も小口・東島間の開通に引き続き、この三月にも全線の供用開始が予定されております。また、慢性的な交通渋滞を引き起こしております中野田内阿賀浦橋交差点につきましても、昨年末に拡幅工事が完了したところであります。こうした整備がなされたことにより、中心市街地の自動車交通量も、一般自動車で三割、大型車においては概ね五割が削減され、交通渋滞もかなり緩和されるものと思っております。また、国道四三号の四車線化につきましては、今後も早期着工に向け、県に要望してまいります。

新津駅東西歩行者道及び西口広場が、昨年五月に供用開始されたことにより、駅西地区における鉄道や商店街への利便性が大いに向上したものと思っております。引き続き東口広場整備事業に着手し、平成十七年度の完成を目指し、駅舎の橋上化を含め駅前広場の整備に現在取り組んでいるところであります。なお、東口広場につ

ては、新津駅の交通結節点機能を強化するため、バスの乗入れが可能となるよう整備し、公共交通機関の利用促進を図ってまいります。新津駅は当市の玄関口であり、こうした整備が中心市街地の活性化につながるものと期待しているところであります。また、「自転車利用環境整備モデル都市」の指定を受け、その実現に向け、これまで新津駅を中心とした自転車道ネットワークの整備を進めてまいりました。本年度、新津駅西口広場側に自転車ターミナルを設置したところでありますが、新年度は、新津川及び本町地区などにおいて約四キロメートルの自転車道を整備することとしております。安全な利用環境に留意しながら、環境にやさしい乗り物である自転車の一層の利用促進を図ってまいります。

なお、交通需要マネジメント施策のひとつとして検討を進めてまいりました、蒲ヶ沢地区における新駅設置につきましては、引き続き広域的取り組みとして検討してまいりたいと思っております。また、それぞれの地域から要望の出でおります生活道路の改良・補修などにつきましても、その内容を十分検討した上で、年次的な取り組みとして意を配してまいりたいと考えております。南町地内の車両製作所脇の市道につきま

ては、新年度において消雪パイプの設置を予定しているところであります。次に、市営住宅についてであります。老朽化した西島と新栄町の市営住宅につきましては、年次的に建て替え事業に取り組んできたところでありますが、西島につきましては最終年次として一棟六戸を、新栄町につきましては一棟四戸を、それぞれ事業実施することとしております。

次に、うるおいとやすらぎの空間整備に関する施策であります。本市の河川を活用した憩いの空間づくりとして、多目的な親水空間の拠点化を目指し、現在、阿賀野川水辺プラザ事業に取り組んでいるところであります。この積極的な活用と周知を進めるため、一昨年・昨年と市民ボランティアの協力をいただき、阿賀野川フェスティバルを実施し、たいへん大勢の皆さんからご来場いただいたところであります。新年度においても、開催の取り組みを行ってまいりたいと思っております。また、市役所わきの覚路津大通川の地下河川化にあわせ、平成十一年度から整備してまいりました緑のシンボルロードにつきましては、新年度完了に向け引き続き整備を進めてまいります。来春からは、歩

加傾向にあり、このような生活状況が要介護高齢者の増加につながる可能性もあります。従来からの介護予防事業の充実を図るとともに、新年度においては軽度生活援助事業として、軽易な日常生活上の援助を行い、高齢者などの自立した生活の継続を促進したいと考えております。

痴呆性高齢者の介護における家族の心身両面にわたる負担軽減は、在宅介護の充実に向けた大きな課題であります。痴呆症状の軽減や悪化防止のためのコミュニケーションホーム事業などに加え、新年度では、はいかがいが発生した場



介護予防は自らの健康管理が第一歩

次に、障害者福祉の充実についてであります。障害者へのバリアフリー対策は、自立支援やノーマライゼーションの基本となるべきものであります。交通機関や公共施設を利用する障害者の利便性の向上を図るため、歩道の段差解消を進めているところでありますが、新年度はさらに新津駅西口から市役所方面に向かう部分の整備を予定しております。斎場のトイレにつきましても、障害者の利用可能な多目的トイレに改修することとしております。

◀ 主な事業

- 市民健診事業 …… 8291万円
- 肝炎ウイルスの検査を市民健診の中で新規に実施するほか、各種検診を行います。
- 運動指導事業 …… 44万円
- 高齢者の生活習慣病予防と介護予防のため、運動指導を行います。
- 第二次高齢者保健福祉計画の策定 …… 27万円
- 高齢者の保健・福祉施策に関する計画の見直しを行い、第二次計画を策定します。
- 軽度生活援助事業 …… 96万円
- 高齢者のみの世帯などを対象に、外出の付き添いなど日常生活の援助を行います。
- 徘徊高齢者家族支援サービス事業 …… 88万円
- 高齢者のはいごいを早期に見てできるシステムを導入します。
- バリアフリー事業 …… 100万円
- 新津駅西口から市役所方面への歩道の段差解消を行います。

2 明るく元気なまち 健やかで優しさが響き合うまち

まず、健康づくりの推進についての施策であります。

市民健診につきましては、現在保健福祉センターをはじめとする市内八会場で実施しているところであります。より多くの市民のみなさんから有効に受診していただくため、働いている人が受診しやすい日曜日の健診について、引き続き実施するとともに、今年度新規地区で行った、基本健診と胃がん検診を同じ日に実施する総合健診を、新年度においてもモデル的な取り組みとして継続し、利便性と受診率の向上に努めてまいります。また、がんの早期発見をより確に行うため、肝臓がんの主要因とされる肝炎ウイルスの検査を、基本健診受診者の四十歳から七十歳までの五歳ごとを対象とした節目検診として、十四年度から新規に実施することとしております。

高齢化社会においては、福祉施策の充実とともに若い頃からの健康維持が大きな課題となっております。健康で自立して活動でき、いわゆる健康寿命を延ばし、元氣

な高齢期を迎えることができるよう、生活習慣病予防対策として、運動指導事業を新年度から行うこととしております。高齢者の社会参加の促進、健康管理、さらに介護予防の一助になるものと考えております。

次に、高齢者福祉の充実についてであります。介護保険制度は、開始から二年を経過いたしました。本市におきましても、高齢者保健福祉計画に基づき、介護サービス提供の基盤整備に努めてきたところであります。この計画については、三年ごとに見直しを行うこととしており、平成十四年度はそれに向けた調査・分析や施策の評価を行い、年度末には、「第二次高齢者保健福祉計画」を策定することとしております。

高齢者やそれを支える家族の多くは、住み慣れた家での生活・介護を望んでおり、介護保険制度の基本も在宅介護の充実と要介護状態の予防にあります。一方で、高齢者のみの世帯や一人暮らしは増

東口駅前広場整備事業 …… 5億5400万円

平成十七年度の完成に向けて、新津駅東口の整備を引き続き行います。

交通安全（自転車利用環境）施設整備事業 …… 1億円

新津駅を中心に自転車道のネットワークを形成します。

消雪パイプ設置事業 …… 2500万円

南町交差点から国道四〇三号ガード下までの道路に、消雪パイプを設置します。

市営住宅建て替え関連事業 …… 1億4384万円

西島と新栄町の老朽化した市営住宅を建て替え、木造二階建て二棟十戸を建設します。また、新栄町市営住宅二・三号棟に入居者の有料駐車を整備します。

阿賀野川水辺プラザ整備事業 …… 3100万円

阿賀野川周辺の整備を行うほか、阿賀野川フェスティバルを開催します。

緑のシンボル空間整備事業 …… 2000万円

水辺空間を利用したシンボルロードを整備します。

環境基本計画推進事業 …… 648万円

環境基本条例に基づき、環境基本計画を策定します。